

京浜急行電鉄は、海外で使える無線通信のWi-Fi（ワイファイ）の通信機器（ルーター）を羽田空港のロッカーを使って貸し出すサービスが始める。4月25日に羽田空港国際線ターミナル駅の改札外に設置する。苦戦が続く日本人の海外旅行者に利便性の高いサービスを用意し、乗客の増

羽田「Wi-Fi」 深夜も貸し出し

加にもつなげる。

新サービスは東証マザーズ上場の通信会社、ビジョンと提供する。利用者はビジョンターでルーターを受け

時は専用カウンターか、無人の回収箱に機器を戻す。受け取れるようになる。

京急、受け取り用ロッカー

ジョンのサイトで事前に申し込み、メールでロッカーの案内と解錠するためのパスワードを受け取る。返却

2015年の日本人の出国者数は前年比4%減の1621万人と、45年ぶりに訪日客を下回った。円安で海外旅行を敬遠する動きが出た。京急電鉄は日本人の海外旅行者向けのサービスを充実させて、顧客の囲い込みを進める。